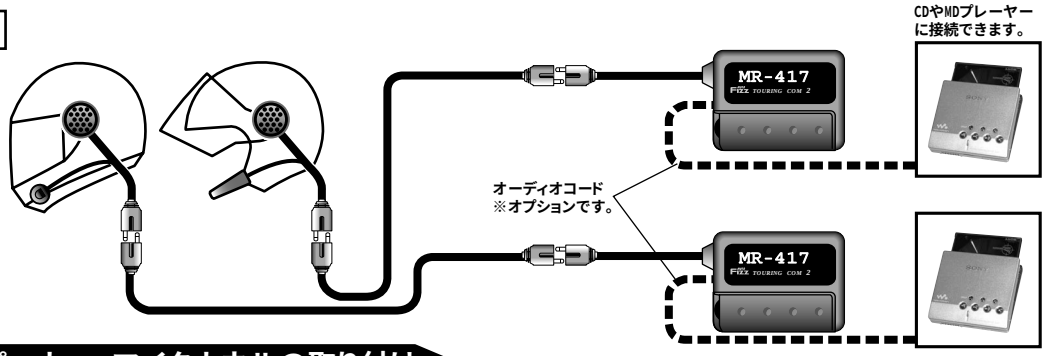
MR-417

コードレスツーリングコム2　取扱説明書

（この説明書は、必ず保証書と共に大切に保管しておいてください。）

システム構成図



1. マイク、スピーカー、マイクカウルの取り付け

マイクの取り付け方

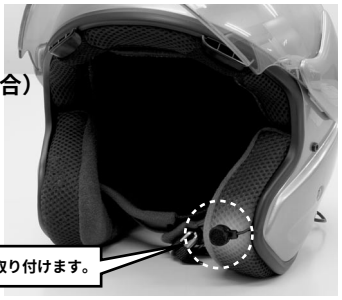
●フルフェイス型

ヘルメットの内側、口元付近にマイク用ベルクロテープを使って取りつけます。（取り外すことが無い場合は両面テープでも可。）

●ジェット型（マイクカウルを使用しない場合）

頬パットの付近にマイク用ベルクロテープを使って取り付けます。
※この場合、実用範囲は60km/h程度になります）より高速走行をされる方はマイクカウルを使用してください。

⚠注　意　実用速度域は参考です。速度は向かい風やシールド等の条件により異なります。

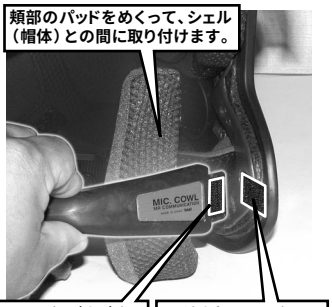


●ジェット型（マイクカウル使用）

※基本的には左右どちらでも取り付けられますが、シールデザインは左用のみとなっています。
・マイクカウルの先端が口元に来る良い位置を決めて、写真の様にヘルメットのパッド（内装）を起こし、ベルクロテープを使用して装着します。
・マイクをマイクカウルにはめ込みます。
・マイクカウルの先端（マイク部）が口元より1～2㎝位に来るように調整します。

参　考　マイクカウル自体は衝撃時等に脱落や緩衝効果の為、ベルクロテープによる固定となっていますが、帽体の材質や内装の材質より、固定が不安定な場合は両面テープを併せて使用してください。

⚠注　意　マイクカウルのステー部はアルミ素材のため、繰り返し曲げたり、必要以上の角度に曲げたりするのはお避けください。またクラック等が発生した場合は速やかにお取替えください。
・品番 MR-E5 マイクカウルをお求めください。



●取り付ける前に全体を少し曲げておきます。

●マイクの取り付け方。

●マイク部分が口元に来るように調整し、ベルクロでしっかり固定します。安定が悪い場合は反対側を両面テープで固定します。

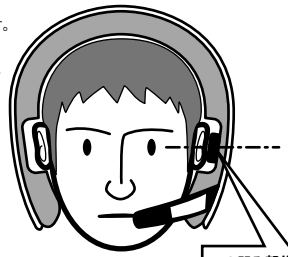
※シールドを閉めた時に干渉せず、内側に収まるようにします。

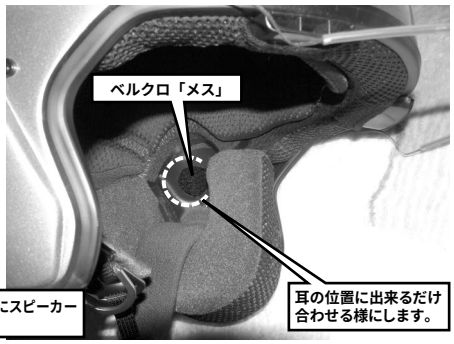
スピーカーの取り付け方

ヘルメットの耳が当たる部分の凹み部分に、ベルクロテープで貼付けます。
ヘルメット側は「メス」スピーカー側は「オス」のベルクロテープを貼ります。

●ベルクロテープはスピーカー側は「オス」ヘルメット側は「メス」を貼ります。
●内装の状況に合わせて両面テープで取り付けてもかまいません。

参　考　スピーカーの取り付け位置は出来るだけ耳の中心と合わせると効率が落ちません。

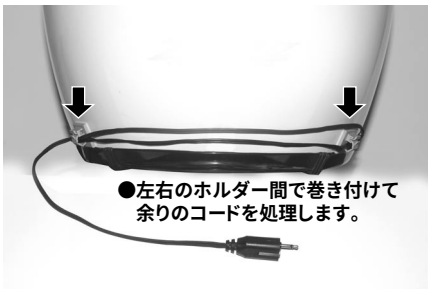




コードの取り回し方

●コードホルダーをヘルメットの左右後ろ寄りの位置に予め貼っておきます。
●マイク、スピーカーのコードは、出来るだけ内装の内側を通して、コードホルダーの近くからヘルメットの外に出します。
●コードが引っ張られても外れにくいように、コードホルダーにひと巻きしておきます。
●使用しない時のコードは、左右のコードホルダーに巻きつけておきます。

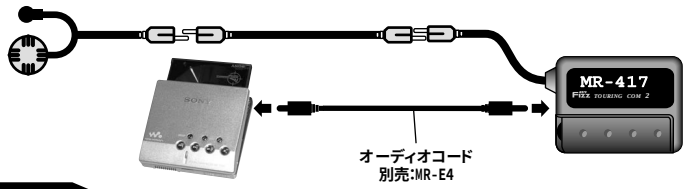
⚠注　意　再塗装のヘルメット等で塗装の定着が悪い物は、コードホルダーの粘着部をはがす際に、部分的に塗装をはがす恐れがあります。



2．オーディオの使い方

・お手持ちのポータブルCDやMDなどの出力口から、オーディオコード（別売）を使って本体　の入力口（IN）につなぎます。※「本体の使用方法」参照
・音源はライダー、パッセンジャー別々に必要となります。

⚠注　意 基本的な音量はオーディオ機器で行っておきます。
本器の電源を入れないと、音楽は聴けません。



3．本体の使用方法

本体各部の操作方法

●双方の本体のボリュームを右に回すと（上げ過ぎに注意）パワーONとなり、その状態で通話できます。
●周波数帯は出荷時に設定してありますので調整は不要です。
●使い終わりましたら、必ずボリュームを左に回しきり、スイッチをOFFにしてください。
●二つの距離が約5m（目安）以上に離れると電波が届かず通話が途切れたり不安定になりますので注意してください。
●パワーランプの点灯が不安定になったり、受信状況が不安定になって来たら電池の入れ替え時期です。

⚠警　告 音量を大きくし過ぎないでください。耳に障害が出る恐れがありますので、長時間の使用は避け、1時間毎に休むようにしてください。また、外部の音（サイレンや警告音）が聞こえる程度の設定にしてください。

コードの取り回し方法

●コードはアンテナの機能を共用しています。出来るだけ外側に出るようにしてください。

⚠注　意 コードは運転に支障が無いよう取り回すこと。
コードが濡れた場合にはコネクター部に水が残らないように良くふき取ること。

電池の入れ方（交換方法）

本体裏側の電池蓋を軽く押しながら手前にスライドさせて開けます。単三電池2本を、ケース内の刻印に従ってセットします。
閉じる時は、蓋をスライドさせてはめます。

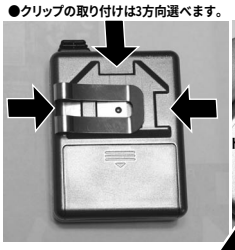
※単三電池×2本は別売です。

⚠注　意 長時間使用しない時は電池を抜いてください。また、容量の異なる電池の組み合わせは避けてください。液漏れ等の原因になります。

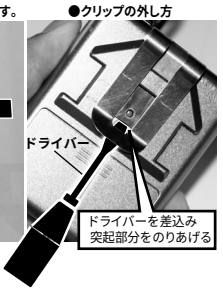
クリップの取り付け・取り外し

●はめ方
クリップの曲がりの無い方を本体に差込、本体側の突起がクリップ側の穴にはまるまで押し込みます。
●はずし方
細めのドライバー（マイナス）等を金具の下に差込み、突起部をはずす様にクリップの端をめくりあげながら、押し出してください。

●クリップの取り付けは3方向選べます。



●クリップの外し方



4．オプションパーツの紹介

	品番	部品名	数　量	価　格
1	MR-E3	マイク、スピーカーコード（中間コード付）	1本	￥5,000
2	MR-E4	オーディオコード	1本	￥1,000
3	MR-E5	マイクカウル	1個	￥1,500

5．Q&A　故障かな？と思ったらまず確認！

●通話が出来ない
- A-B間のみ通話が可能です。（3台以上での使用は出来ません）
- ボリュームが0Nになっていない。
- ジャック部の接点が接触していない。または、接点が汚れている。（接点を挿しなおすか、清浄してみてください）
- 電池の残量が無い。（電池交換）
- 電池の＋と－が逆。または、電池がうまく収まっていない。
- コード途中のコネクターがしっかり接続されていない。
- 電源ランプがついていて、接続もしっかり付いている場合は、コードの内部断線が考えられます。（通電チェックの必要があります。パーツ交換か修理依頼が必要です）
- 距離が離れ過ぎている（5～10mが作動範囲です）
- アンテナ効率が悪くなっている（コードがアンテナの役目になっています。コードは丸めたりせずに、少し垂らした状態にしてみてください。）

●音楽が聞こえない
- ボリュームが小さい。
- MD,CD側のスイッチやボリュームの設定が適切でない、または動いていない。（オーディオ側の取扱い説明書を確認してください）
- オーディオコードが適切でない（接続ピンの接点形状など）

●聞こえる音が小さい
- 電池の残量が無い（電池交換）
- スピーカーの位置が耳の位置と合っていない。（位置の確認または、内装（パッド）の上に取り付ける。）
- 相手のマイク位置の条件が悪い（位置を変えて、付け直ししてみる）

● 雑音が激しい
- 風切音が大きい。
  マイク位置の変更やマイクカウルを使用する。
  100km/h以上になるとヘルメット周辺の風切音は一段と大きくなります。
- 声を拾わない。
  マイクの位置が適切でなく、直接風が当たるようなところは避けてください。
  ジェット型ヘルメットの場合は出来るだけマイクカウルを使用し、口元にマイクが来るようにセッティングしてください。
- 電波障害
  特定の場所や近くで強い電波を使用している場合などは電波に障害が出る場合があります。一時的なものであれば故障ではありません。
  また、同じMR-417を近くで使用している時にも混信する場合があります。
- 接点不良
  接点が汚れている、酸化している場合にも雑音になることがあります。接点部分を拭いてみてください。

6．保証、修理等について

お問い合わせの前にQ&Aで確認をしてください。
修理、メンテナンス、お問い合わせは右記にお願いします。

タナックス株式会社　サービス部　受付時間：月～金 9:00～18:00
〒270-0151　千葉県流山市後平井107-3　TEL:04-7150-2450
TANAX